

ごあいさつ



新年明けましておめでとうございます

いつも弊社商品をお引き立ていただき心から御礼申し上げます。

2017年日本の景気は緩やかな回復傾向が続きました。

自動車メーカーでの無資格者による完成車両検査が露呈しての出荷停止や、金属メーカーの品質データ不正など大きな問題となりましたが、10月の鉱工業生産指数は電気機械や自動車部品の生産回復が要因で2ヶ月ぶりに前月比上昇となりました。雇用情勢も失業率が低水準で推移し、有効求人倍率も1.54倍と高水準を記録。雇用環境の改善など背景に、個人消費も底堅さを維持しています。低迷していたインバウンド需要は「モノ消費」から「コト消費」へと変わり、10月の訪日外国人数が259.5万人、前年比+21.5%増加するなど堅調となり、本年度以降も続くと思われ。一方、賃金は人手不足が深刻な運輸業や建設業などで上昇傾向となるも、大手企業などでは海外経済の先行き不透明感により抑制され、平均賃金が伸び悩んでいるのが実情です。

2017年の眼鏡業界は、販売手法や店舗形態など大手チェーン店が率先して見直しに取り組み、消費者に働きかけ始めました。中小小売店においては、独自色を活かした商品構成や提案方法で消費者の心を掴む販売が盛んになり、成果を生んだ店舗が多くございました。弊社においては、高エネルギー可視光線（HEV）をカットするメモシリーズが消費者に認められ、トライフィールド両面非球面メモFZシリーズも追加発売となり好評いただきました。また、被写界深度延長設計の遠近両用メリウスESが加わり、ESシリーズが購入できる店舗の問い合わせを消費者から直接受けるようにもなりました。機能コートの追加として、光老化対策IRブルーカットの発売を行い、その性能が徐々に浸透してきております。これも偏に小売店皆様のご理解とご販売のお陰です。誠にありがとうございます。

今年は新設計レンズや機能コートの更なる充実を図る予定でございます。

皆様の販売に役立つ商品のご提案申し上げますのでどうぞご期待ください。

本年も倍旧のご愛顧をお願い申し上げますと共に、お得意様皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈りいたします。



2018年元旦

株式会社ティーエスエル

代表取締役社長 石切山 平仁